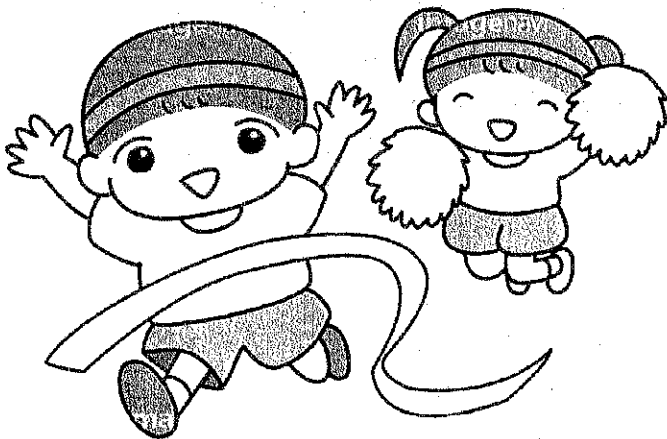


そうだしつだより

こんにちは。心^{こころ}のふれあい相談員^{そうだしん}の寺田^{てらだ}よしみです。みなさん、夏^{なつ}休み^{やすみ}はいかがでしたか。友^{とも}だちや家族^{かぞく}と楽しいひとときを過^{すご}すごすことができましたか。子供^{こども}の頃^{ころ}の良^よい思^{おも}い出^では「一生^{いっしょう}の宝^{たから}」です。忘^{わす}れないように大切^{たいせつ}にしてくださいね。私^{わたし}は、初^{はじ}めて山梨^{やまなし}県^{けん}の「富士吉田^{ふじよしだし}市^し」というところへ行^いって来^きました。晴^はれていたら富士^{ふじ}山^{さん}を見^みることができたのですが、残^{ざん}念^{ねん}ながら曇^{くも}り続^{つづ}きで富士^{ふじ}山^{さん}を眺^{なが}めることはできませんでした。でも、野^や外^{がい}音^{おん}楽^{がく}会^{かい}を楽し^{たの}しみ、新^{しん}鮮^{せん}な空^{くう}気^きを浴^あびることができました。夏^{なつ}の思^{おも}い出^でを家族^{かぞく}と一^{いっ}緒^{しょ}に振^ふり返^{かえ}りましよう。また、日^に記^{っき}や写^{しゃ}真^{しん}に残^{のこ}して何^{なん}度^ども楽^{たの}しむようにしましよう。



《児童^{じどう}のみなさんへ》

- 相談室^{そうだしつ}があいている曜^{よう}日^び、時^じ間^{かん}
火曜^{かよう}日^び・木曜^{もくよう}日^び
- 元^{げん}気^きっ子^こタイ^{たい}ム または 昼^{ひる}休^{やす}み
- はいるときはノックをします。
- やくそく・じゅんぱんをまもります。
- じゅぎょうにまにあうようにいどうします。

《保護^{ほご}者のみなさんへ》

相談室では、保護者の方々からのご相談も受け付けております。お子さまの学習面や生活面、人間関係の他に、子育てにおいて気になることや不安なことなどがありましたら、お気軽にご連絡ください。どんな些細なことでかまいません。是非、相談室をご利用ください。

相談室は、一階「保健室」の隣にあります。

- 開室日 火曜日・木曜日
- 開室時間 8:40～14:00
- 利用方法 前もって学校にお電話にてご予約ください。
- お問い合わせ
明峰小学校 04-2922-7591

保護者のみなさま——〈褒めることの大切さ、褒めることのむずかしさ〉

40日余りに及んだ夏休みが終わりました。ご家族にとっては子供たちと過ごす貴重な時間であり、お子さんの「成長」を改めて感じるひとときだったと思います。

ところで、一言で「成長」と言っても「身体」も「心」も急激に変化・成長する時期があります。「幼児期」「学童期」「思春期」「青年期」等、いろいろな壁を乗り越えて人は成長していきます。急成長している時期の子供を褒めることは特に大切です。しかし、子供の褒め方はとても難しいと感じている方も多いのではないのでしょうか。

一般に、褒めることは子供の成長に良い影響を与えられとされています。褒めるということは、実は、その人を認めていることを示すということでもあるからです。

では、褒めることのメリットを3つご紹介します。

《自己肯定感が養われる》自分が存在していることを肯定的に捉え、自分を大切に思うことができる。

《物事を前向きに捉えることができる》自分の気持ちをしっかり持ち、良い意味で自己主張ができる。

《積極的な見方を促す》もし失敗したとしても、努力を褒められると再挑戦することができる。

けれど、褒め方次第では逆効果となってしまうこともあるようです。そこが難しいところなのです。抽象的に「すごい、すごい」「君は天才だ」と言ったり、人と比較してしまったり・・・それでは尊大な人になってしまうかもしれません。そしてこれも大切な点ですが、子供を褒めるためには子供に心から「関心」を持たなければなりません。関心を持って子供の様子を観察して初めて、その子の状況や努力が見えてくるものです。そうすると褒めるタイミングを見逃すこともないでしょう。タイミング良く褒めることができるように日々子供に関心を持ちましょう。また、子供は親から関心を持たれていることがわかっていると、親を心から信頼するものです。

では、どんな「褒め方」が良いのでしょうか。

《具体的に褒める》算数の〇〇ががんばったね。〇〇ができたね。〇〇ができたことはすごいね。

《達成できなくても努力の過程を褒める》ここまでがんばれたね。十分がんばったと思うよ。

《感謝の言葉を述べる》（お手伝いなどをした時）ありがとう。本当に助かったよ。

《励ましの言葉を添える》次はきっとできるよ。楽しみにしているね。

みなさんが大好きなアニメから褒め方を学ぶこともできるようです。

例えば「千と千尋の神隠し」では、両親がブタになってしまってもう会えないと思っていた千尋に、ハクは「今は無理だけど必ず会える」と励ましの言葉をかけます。また、橋を渡り終えるまで呼吸を止める必要があったのに失敗した時「千尋はよくがんばった!」と、こんな風にさらっと褒めています。

仕事仲間のリン、ボイラー室の釜爺、銭婆なども千尋の努力や優しさを短い言葉で褒めています。そんな「褒め言葉」に囲まれて千尋は成長していくのです。そして、親たちと再会するための「最後の試験」が待っている千尋を送り出す時、銭婆は千尋に「大丈夫、あんたならやり遂げるよ!」と声をかけました。今回は「千と千尋の神隠し」のほんの一部を取り上げましたが、ジブリをはじめ、子供が成長する過程を扱ったアニメには「褒め言葉」がたくさん出てきます。夜が長くなるこれからの季節、子供たちと一緒に懐かしいアニメを鑑賞しながら「褒める」ヒントを得るのも良いかもしれません。

参考文献：岩宮恵子（2013）好きなものにはワケがある一宮崎アニメと思春期の心